

「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園 座談会"先輩からのアドバイス"」 (毎日新聞11月30日(土) 掲載)

2013/12/09

全国高等学校ビジネスアイデア甲子園 “先輩からのアドバイス”



2013年11月30日、大阪府立大学で開かれた「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」の座談会。右から、大阪府立大学学長谷岡一郎、大阪府立大学経済学部長田中裕也、大阪府立大学経済学部教授山口裕子、大阪府立大学経済学部教授山口裕子、大阪府立大学経済学部教授山口裕子。

「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」は、全国の高校生が自由に発想で新しい商品・サービスやビジネスモデルを提案する「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」(大阪府立大学、毎日新聞社主催)の第13回大会の最終審査会が12月14日、大阪府立大学で開かれる。それを前に、四大が経営教育の一環としてビジネスアイデア甲子園をレベルアップした形で学内で開いている「大衆大ビジネス・アイデアコンテスト」の学際授業員4人に話を聞いた。彼ら一先学生とともにビジネスアイデアを考える喜びや楽しさについて語ってもらった。

高校生が自由に発想で新しい商品・サービスやビジネスモデルを提案する「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」(大阪府立大学、毎日新聞社主催)の第13回大会の最終審査会が12月14日、大阪府立大学で開かれる。それを前に、四大が経営教育の一環としてビジネスアイデア甲子園をレベルアップした形で学内で開いている「大衆大ビジネス・アイデアコンテスト」の学際授業員4人に話を聞いた。彼ら一先学生とともにビジネスアイデアを考える喜びや楽しさについて語ってもらった。



大阪府立大学
谷岡 一郎学長

総合経営学部長(経済社会調査部)。主担当「ツキの読解」(PHP出版)、「チャンプルの社会学」(世界図書社)など



田中 裕也学長
大阪府立大学経済学部教授
「大衆大ビジネス・アイデアコンテスト」(P)

世界での活躍 夢見て

田中 裕也学長
大阪府立大学経済学部教授
「大衆大ビジネス・アイデアコンテスト」(P)



岡本 梨沙さん

総合経営学部長(経済社会調査部)。主担当「ツキの読解」(PHP出版)、「チャンプルの社会学」(世界図書社)など



未来の企業人育成に向けて 大阪府立大学・リエゾンセンター

「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」は、大阪府立大学が「国に役立つ人物の育成」という断片的な理念をもとに2012年に創設した。6年からは毎日新聞社も協賛に賛同し、教員を振り全国の高校生に呼びかけるなど共催で展開。昨年は過去最多の全国18校から244件のアイデアが寄せられるなど、全国展開のユニークなコンテストとして定着してきた。学内で開く、ビジネスアイデア甲子園を主催しているのは、大阪府立大学リエゾンセンターだ。「リエゾン」(仏語)は「橋渡し」の意の漢字であり、起業教育を積極的に推進しようとする高校教員と、四大の教員が協働する前向きな「起業教育研究会」を組織。ビジネスアイデア甲子園を軸とした起業教育についての情報交換や実践的な研究などを行っている。さらに学生を対象にアイデアを実践に商品化するためのマーケティング

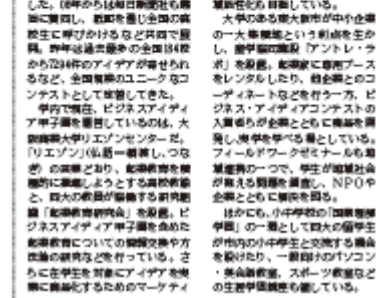
知恵を絞る楽しさ

山口 裕子学長
大阪府立大学経済学部教授
「大衆大ビジネス・アイデアコンテスト」(P)

山口 裕子学長
大阪府立大学経済学部教授
「大衆大ビジネス・アイデアコンテスト」(P)



田中 裕也学長
大阪府立大学経済学部教授
「大衆大ビジネス・アイデアコンテスト」(P)



山口 裕子学長
大阪府立大学経済学部教授
「大衆大ビジネス・アイデアコンテスト」(P)

山口 裕子学長
大阪府立大学経済学部教授
「大衆大ビジネス・アイデアコンテスト」(P)

山口 裕子学長
大阪府立大学経済学部教授
「大衆大ビジネス・アイデアコンテスト」(P)

この自信、次の糧に

山口 裕子学長
大阪府立大学経済学部教授
「大衆大ビジネス・アイデアコンテスト」(P)

山口 裕子学長
大阪府立大学経済学部教授
「大衆大ビジネス・アイデアコンテスト」(P)

山口 裕子学長
大阪府立大学経済学部教授
「大衆大ビジネス・アイデアコンテスト」(P)